



小学校がもっと楽しくなる 「わくわく！小学校体験ルーム♪」6月スタート＆ 「小学校入学前家庭教育講座」と初連携で入学前支援強化

松戸市では、幼児期から小学校への円滑な接続（いわゆる「架け橋期」）を支援するため、「わくわく！小学校体験ルーム♪」を拡充するとともに、保護者向けの「小学校入学前家庭教育講座」と初めて連携し、入学前支援を一層強化します。

■小1プロブレムを解消

幼稚園・保育園と小学校では生活リズムや学習環境が大きく異なることから、子どもたちは新しい環境に不安や戸惑いを感じやすく、「小1プロブレム」の一因となることが指摘されています。

こうした課題を踏まえ、本取組は、子どもにとっては“安心して小学校生活をイメージできる機会”を、保護者にとっては“入学準備への理解と不安解消の機会”を提供し、家庭と学校の両面から円滑な就学移行を支援するものとなります。



■小学校生活をリアルに体験

今年度は、より多くの子どもたちが利用できるよう、体験ルームのオープン時期を前倒しし、6月から市内全域で実施します。あわせて、新たに専任の元小学校教員を「幼保小連携コーディネーター」として配置し、実際の小学校生活をよりリアルに体験できる内容へと充実を図ります。

また、今回社会教育課が実施する「小学校入学前家庭教育講座」と初めて連携し、子どもと保護者が同日に別プログラムで学ぶ仕組みを導入します。

■保護者の不安も解消

当日は、子どもたちが体験ルームにおいて授業体験や給食当番、チャイムに合わせた行動などを楽しみながら体験する一方、保護者はその様子を見学した後、別教室で



家庭教育講座を受講します。

講座では、小学校の1日の流れや入学前に身につけておきたい生活習慣、家庭での関わり方、子どもの学習意欲の高め方などを学びます。入学準備に関しては、ひらがなの読み書きや数の概念など、どこまで家庭で教えるべきかといった不安を抱える保護者も多く、元小学校教員である社会教育指導員がそうした疑問や不安の解消を図ります。

わくわく！小学校体験ルーム♪
(幼児教育課)

- ・年長(5歳児)が対象
- ・幼保から小への円滑な接続
- ・小1 プロブレム対策
- ・楽しく小学校生活を体験する機会
- ・コーディネーター配置

NEW

子どもの適応力UP

小学校入学前家庭教育講座
(社会教育課)

- ・入学を控えた子がいる保護者が対象
- ・よりスムーズな小学校生活を送れるよう小学校生活について理解し、家庭でもできることなどについて学ぶ機会

保護者の家庭教育力UP

学校・園・家庭・教育委員会・行政が連携し、“子どもだけでなく保護者も一緒に入学準備ができる” 新たな取り組みです。

- 日時 1回目 令和8年6月30日(火) 午前10時10分から13時頃まで
2回目 令和8年7月13日(月) 午前10時10分から12時頃まで

●実施校 市立馬橋北小学校 松戸市新松戸南2-1

●利用者 学校法人松本学園(新松戸幼稚園)の年長組の園児35名と保護者

